



斐然成章

成章中学校 学校便り
令和7年12月18日
第6号
文責 神崎 浩之

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～ 変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する ～

信頼される優しさ ～善を行うに勇なれ～



9月24日（水）、市内在住の方が自転車で佐賀駅に向かう途中、スカートの裾がチェーンに絡まり、身動きが取れなくなるといふトラブルに見舞われました。困っていたその方に、本校1年生の男子生徒が「大丈夫ですか。何かお手伝いしましょうか」と声を掛け、自転車のスタンドを立ててチェーンを回しながら絡まったスカートの裾を外そうと試みました。

その後、偶然通りかかった2年生女子生徒2名も加わり、協力して対応しましたが、うまくいかず、近くの学校まで戻って先生を呼びに行ってくれました。先生とともに現場に戻ったときには、スカートの裾は既に外れていましたが、その方は「急いでいたため、十分なお礼ができなかった」と話されていました。翌日、その方より学校にお電話があり、「生徒の優しい対応に本当に感動しました。優しい気持ちで接することができる子どもを育ててもらって本当にありがたいです。先生方の日頃の教育に感謝しています。ぜひ直接お礼をさせていただきたいです。」とのお言葉をいただきました。

後日、その方が来校され、生徒たちに温かい感謝の気持ちを伝えてくださいました。その言葉には深い感動があり、その場に立ち会った私たちも心に残るひとときとなりました。



11月11日の全校朝会で、3名の生徒に善行表彰を行いました。この思いやり溢れる行いは、そこに関わった人や聞いた人の心を温かくしてくれました。そして、私たちに大切なことを教えてくれました。

「善を行うに勇なれ」（小泉信三）の言葉を紹介し、3名の価値ある行動を全校で称えました。

「善」とは、正しいこと。「行うに」とは、それを実行するとき。「勇」とは、勇気を持って踏み出すこと。～ 正しいと思うことを実行するときには勇気を持って踏み出す ～

この言葉には、自分の中にある信念や正義感を、実際の行動に移すことの大切さを教えてくれています。正しいことを知っているのに、それを行わないのなら、それは正しいことを知らないのと同じです。ほんの少しの勇気が足りないだけで、正しいことができないのだとしたら、それは残念なことです。毎日が勇気を試される連続です。友だちとの関係、困っている人への声かけ、間違いを正す場面・・・そんなときこそ、この言葉を思い出し、3名の価値ある行動に思いを寄せてみてはどうでしょうか。私たちは日頃から「正しいことをする」と心に決めて過ごしていきたいものです。

学校教育目標「変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する」の信頼される優しさそのものです。価値ある行動をするときは、迷わず、自信をもって実行していきましょう。



善行表彰の様子

文化発表会 ～ 身近なところから問いを立てよう ～

「平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりすること」とあるように、文化発表会は、総合的な学習の時間を中心に各教科の授業を発展させた内容を集中的に取り組みました。ステージ発表や展示発表で一人一人が主役として思い思いの学習活動を表現することができました。展示発表については、当日だけではなく一週間、多目的室で継続して参観できる機会を作ることによってそれぞれの視点で文化に親しんでいました。新しい取組で生徒、保護者の皆様に様々な意見を頂いています。今後より一層よいものにしていくためにブラッシュアップしていきたいと思っています。

文化発表会を終えて、生徒のインタビューより

CHANEL

中学校生活3年間で一番頑張ってきたのは英語だし、一番好きなのも英語です。結局、英語が好きだという気持ちが強くて、英語を選びました。今回は自分の今までの実力に甘んじることなく、真剣に取り組もうという思いで資料を準備しました。

テーマは、「自分らしさ」を出したいと考えていました。堅苦しくなりすぎず、聞いていて心地よいスピーチを目指したかったので、みんなが「知ってる!」と感じるような、親しみやすいテーマを選びました。私はファッションが大好きです。だからこそ、ファッションは、きちんと歴史があるものだと思ってほしかったのです。「私らしさ」「内容の深さ」、そして「みんなが聞いて面白いと思えること」の全てが両立できるテーマがよいと考え、今回は「シャネル」を選びました。

発表中は、これまでにないほど緊張しました。しかし、実際にステージに立ってみて初めて分かる感覚があり、喋り始めたら周囲が見えなくなるほど集中できました。今、終えてみて心から「やってよかった」と思っています。今まで、誰もやったことがないようなテーマで発表できたことがまず嬉しいし、自分の努力をアピールする上で、最善の選択だったと感じています。特に、好きな英語で発展的な内容に挑戦し、それを表現できたことは素晴らしい経験となりました。周囲の評価に関わらず、自分自身が「頑張った」と胸を張れることが何より大切だと感じています。

英語というツールを使って集中し、やりたいことをやりきれた感覚があります。今回の文化発表会は、単なる発表会ではなく、文化について深く考えられる貴重な時間になったと思います。

また、今年度の合唱コンクールは、外部の音楽の専門家の先生方を審査員としてお招きしたおかげで、今まで気付かなかった視点での講評をいただき感謝の気持ちで一杯でした。

合唱コンクール外部審査員の先生方の講評より（抜粋）



曲の構成を生かした表現の工夫がとても良かったです。各パートのハーモニーがきれいでした。歌う前のブレスの準備が上手にできるようになると、もっとよくなると思っています!



壮大な曲をよくまとめあげていました。クライマックスへすすむなど、細部の表現が良かったです。特に、この曲はリズムの取り方が難しいのですが、言葉のテンションととても合っていました。

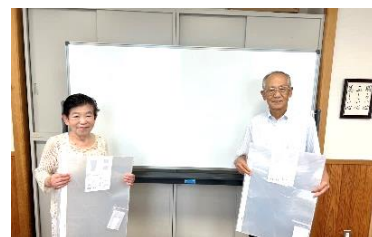


挑戦おつかれさま、良かったです。頑張ったね。ありがとう!! 高い声は、だんだん工夫してくださいね。ありがとうございます。選曲良かったです。



ありがとうございました ホワイトボード、美術作品掲示用ファイルを寄付していただきました

昭和33年卒業生の皆様に、成章中の子どもたちに役立つものを多目的室のホワイトボードと文化発表会等様々な場面で使える作品掲示用のファイルを寄付していただきました。母校で過ごした思い出を懐かしそうにお話されていました。60年以上の時が経っても母校へ寄せる思いは変わらず愛校心溢れるものでした。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



今後の行事予定

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1 2月24日(水) 2学期終業式・生徒会退任式 | 2月 3日(火) 県立特別選抜入試 |
| 1月 8日(木) 3学期始業式 | 立志式(2年) |
| 1月22日(木) 私立前期入試・先輩に学ぶ(2年) | 2月 5日(木) 私立後期入試 |